

～地域との合意形成に 向けた取組～

学校とコラボセンターが連携し、地域の“絆”を「交流の舞台」として表現した外観デザイン
界隈感ある南部地域に調和し、緑の潤いを地域に与えるデザインとする



大阪府豊中市教育委員会

豊中市の概要

◆人口：401,322人（令和3年10月現在）＜中核市＞

◆小学校：41校 児童数 22,315人

◆中学校：17校 生徒数 9,602人

◆面積：36.6 km²

◆豊中市への交通アクセス



大阪国際空港



阪急宝塚線 大阪モノレール
北大阪急行線

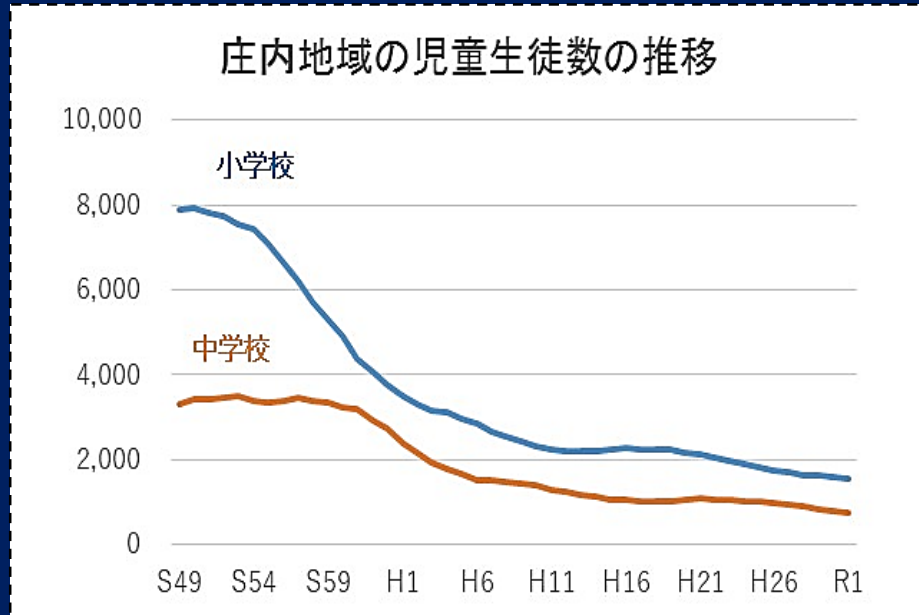


名神高速道路
中国縦貫自動車道など



庄内地域の小・中学校の実情

- ①小規模校化が進行し、人間関係の固定化や教育活動の制約などが生じている
- ②1つの小学校から2つの中学校に進学する分割校があり、小中一貫教育が行いにくい
- ③家庭事情を背景とした生活・学習課題に直面している子どもが多い



庄内地域6小学校

平均 239人

各学年1～2学級

※令和3年度（2021年度）5月1日現在

課題解消に向けた検討

平成26年4月

「学校規模と通学区域に関する課題
の解消に向けた基本方針」の策定

(南部地区の課題解消に向けた検討)

義務教育9年間を見とおした教育課程の作成や施設一体型小中一貫校の整備も視野に入れた小中一貫教育のあり方、庄内南小学校、島田小学校、千成小学校の分割進学の課題解消、稲津町の調整区域の解消について検討します。

さらに、児童・生徒数の推移を見極め、学校規模や地理的条件その他の事情も考慮したうえで、南部地区の実情に応じた小・中学校の配置のあり方についても検討する必要があります。



学校再編の議論を開始

市民説明・意見交換会（平成26年実施）

○対象：庄内地域のPTA等

内容：庄内地域の小・中学校の現状と課題について

○対象：庄内地域の地域団体等

内容：『子どもに夢を！地域に輝きを！より充実した教育環境をめざして』

○対象：庄内地域の幼稚園・保育所

内容：『子どもに夢を！地域に輝きを！より充実した教育環境をめざして』

「魅力ある学校づくり」ワークショップ

対象：地域のみなさま （平成26年11月～平成27年2月開催）

第1回 『夢を語り合いましょう』

内容：現状と今までの検討状況の共有、今の学校の良いところ・自慢、こんな学校になればいいな

第2回 『夢をかたちにしましょう』

内容：「15歳の子ども像」15歳までに身につけたい力・必要な準備（手段）等

第3回 『わたしたちの提案』

内容：「〇〇な子ども（人）を育む学校」、実現に向けた取り組みを時系列に整理

「魅力ある学校づくり」シンポジウム

日時：平成27年3月22日（日）10：00～12：00

対象：地域のみなさま

第1部：「魅力ある学校づくり」ワークショップの報告、
（仮称）南部コラボセンター基本構想の報告等

第2部：パネルディスカッション
「庄内地域における魅力ある学校とは」

平成27～28年度
～庄内地域における
「魅力ある学校づくり」
構想案の検討～

「魅力ある学校づくり」案に係る 情報・意見交換会

対象：魅力ある学校づくり連絡会

（「魅力ある学校づくり」ワークショップ参加者
のうち登録を希望された方）

内容：3回開催（平成27年7月8月）

魅力ある学校づくり連絡会メンバーと事務局の交流を
通じて、庄内地域における「魅力ある学校づくり」
具体案の方向性を見定める。

市民説明会・意見交換会

○庄内地域における「魅力ある学校」づくり構想の市民説明会

- ・ 22回開催（平成28年11月～平成29年2月実施）

○庄内地域における「魅力ある学校」づくり構想の検討状況の説明会

- ・ 3回開催（平成28年11月実施）

平成29年8月

庄内地域の6小学校と3中学校を
施設一体型義務教育学校2校

〔（仮称）庄内さくら学園（北校）
・（仮称）南校〕に再編する

「庄内地域における『魅力ある学校』
づくり計画」を策定

(仮称) 庄内さくら学園



庄内小学校



野田小学校



島田小学校



第六中学校



第十中学校

庄内小学校を移設し、
野田小学校と同居
(野田小学校校舎)

令和2年(2020年)4月

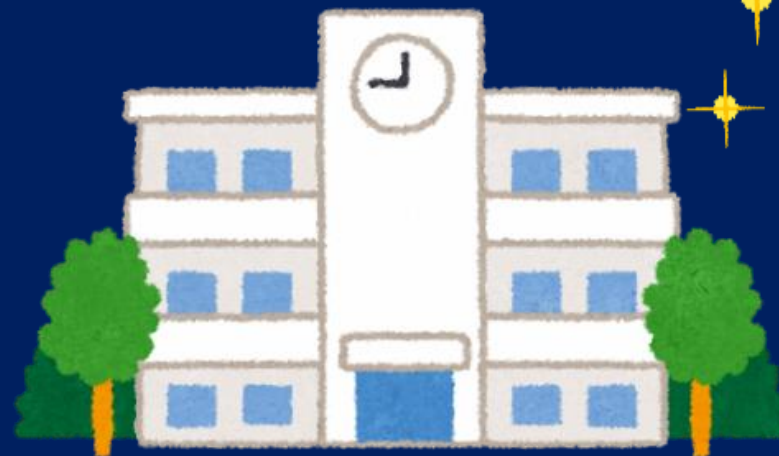
庄内さくら学園中学校
(第十中学校校舎)

令和2年(2020年)

4月開校



(仮称) 庄内さくら学園
(庄内小・第六中学校敷地)



令和5年(2023年)4月開校予定



(仮称) 南校



保護者・地域住民との合意形成

<開校準備委員会>

(仮称) 庄内さくら学園の開校に向けて意見交換を行うため、保護者や地域住民、校長等による「開校準備委員会」を設置。

- ・ 学校名や標準服、校章、通学路等について意見交換
- ・ 平成30年度：6回開催、令和元年度：2回開催、令和2年度：1回開催

<設計ワークショップ>

(仮称) 庄内さくら学園の校舎の設計にあたって、市民ワークショップを開催

- ・ 4回開催（平成30年7月28日～10月20日）
- ・ 義務教育学校と（仮称）南部コラボセンターとの連携内容や効果的な施設配置などについて地域住民等と意見交換を行いながら検討を進めた

< 保護者・地域住民への情報発信 >

- 取組の進捗状況に応じて年間を通じて説明会を開催
(平成29年度：16回開催，平成30年度：19回開催，
令和元年度：13回開催)
- 「『魅力ある学校』づくり通信」や「かわら版」の発行
開校準備委員会や設計ワークショップ等の取組状況を
随時「『魅力ある学校』づくり通信」や「かわら版」
としてまとめ，市ホームページへの掲載，自治会へ
回覧する等，情報発信

市長部局との連携

(1) 学校再編に伴う市民の声

- ・ 今後のまちづくりを、どのように考えているのか。
- ・ 再編された後の学校跡地は、どうなるのか。



市民説明会をスタートさせた当初より、
学校教育のことだけでなく、
まちづくりに関するご意見をたくさんいただき、
市長部局でもまちづくりについて、議論が始まる。

(2) 市長部局の取組み

第4次豊中市総合計画
前期基本計画
(2017年度策定)

- ・とくに重点的かつ総合的に取り組む「リーディングプロジェクト」として**南部地域活性化プロジェクト**を位置付ける

南部地域活性化構想
(2017年度策定)

- ・「子どもたちの元気があふれるまちづくり」「誰もが安全に安心して暮らせるまちづくり」「にぎわいとゆとりのあるまちづくり」の3つを**南部地域活性化の柱**としてまとめる

南部地域活性化基本計画
(2019年度策定)

- ・南部地域に係る施策調整や進捗管理、民間事業者との連携に向けた協議・調整など、部局横断的に組織が一体となって取り組むため、新たに**南部地域活性化担当主幹**を設置
- ・**南部地域のコンセプト**や**南部地域をICTフィールド**と位置付ける

南部地域の学校跡地に関する
個別活用計画
(2020年度策定)

- ・学校跡地にまちの要素である**“音楽”“ものづくり”“スポーツ”“食”**を取り込むことで、新たなまちの魅力をつくる
- ・まちの資源や活動と学校跡地が連動し、住む人や訪れる人、多様な人が自己実現やチャレンジできることで、地域内外から人を惹きつけるまちをめざす

(3)市長部局との連携

教育委員会事務局・市長部局それぞれの市民説明会で同席し、市民対応をする。



部局横断的に連携して取り組むことで、市が一丸となって取り組んでいる姿勢を示すことができ、市民との信頼関係が少しずつ醸成されてきた。